

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の届出書

様式第十五

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の届出書

相模原市長 殿

年 月 日

工事主

住所
氏名
連絡先

宅地造成及び特定盛土等規制法 { 第21条第1項
第40条第1項 } の規定により、下記の工事について届け出ます。

記

1	工事施行者住所氏名	
2	工事を行っている土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	(緯度: 度 分 秒、 経度: 度 分 秒)
3	工事を行っている土地の面積	平方メートル
4	盛土のタイプ	平地盛土・腹付け盛土・谷埋め盛土
5	盛土又は切土の高さ	メートル
6	盛土又は切土をする土地の面積	平方メートル
7	盛土又は切土の土量	盛土 立方メートル
		切土 立方メートル
8	工事着手年月日	年 月 日
9	工事完了予定年月日	年 月 日
10	工事の進捗状況	

工事の実施主体である者の住所氏名を記入すること。法人であるときは、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入（開発許可であれば、許可申請者を記入）

届出書の記入事項や添付図書に不足等がある場合、確認のための連絡先（TEL）と担当者氏名を記入

現地で実際に工事を施行している者の住所氏名を記入すること。法人であるときは、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入（開発許可であれば、施工者を記入）

工事を行っている土地の全ての地番を記入すること。緯度経度は、工事を行っている土地のおおむね中心を代表地点として記入すること

該当する盛土のタイプを選択
平地盛土：勾配1/10以下の平坦地において行われる盛土で、谷埋め盛土に該当しないもの
腹付け盛土：勾配1/10超の傾斜地盛土において行われる盛土で、谷埋め盛土に該当しないもの
谷埋め盛土：谷や沢を埋め立てて行う盛土

盛土の最下端から最上端まで又は切土の最上端から最下端までの垂直高さを記入すること
盛土と切土を同時に行う場合は、切土の最上端から盛土の最下端までの垂直高さを記入すること（開発許可であれば、申請図面にある最大盛土、最大切土又は最大切盛土を記入）

標高差30cm超の盛土又は切土をする土地の部分の面積を記入すること

盛土又は切土の総土量を記入すること。場内で土砂を移動する場合は、盛土欄と切土欄の両方に土量を記入すること。（盛土・切土）土量が外部から搬入する土量となる

土地の形質の変更に関する工事に着手した年月日、その工事が完了する予定の年月日を記入すること

全体の何%が完了したか記入すること

添付図書

図面の種類	明示すべき事項
① 位置図	縮尺、方位、道路及び目標となる地物（工事区域を赤枠で表示）
② 土地の現況写真	全景及び盛土又は切土をしている工事の状況（4枚程度）
◎上記に加え、特盛区域の許可対象規模に該当する工事の場合	
③ 地形図（現況図）	縮尺、方位及び土地の境界線（工事区域を赤枠で表示）
④ 土地の平面図（造成平面図）	縮尺、方位及び土地の境界線並びに盛土又は切土をする土地の部分、崖、擁壁その他の土留の位置（切土、盛土部分を着色）
⑤ 土地の断面図（造成断面図）	
⑥ 他法令の許認可等を示す書類	開発行為の許可書など

土石の堆積に関する工事の届出書

様式第十六

土石の堆積に関する工事の届出書

年 月 日

相模原市長 殿

工事主 住所
氏名
連絡先

工事の実施主体である者の住所氏名を記入すること。法人であるときは、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入

宅地造成及び特定盛土等規制法 { 第21条第1項 第40条第1項 } の規定により、下記の工事について届け出ます。

届出書の記入事項や添付図書に不足等がある場合、確認のための連絡先（TEL）と担当者氏名を記入

記

1 工事施行者住所氏名	
2 工事をしている土地の所在地及び地番（代表地点の緯度経度）	(緯度: 度 分 秒、 経度: 度 分 秒)
3 工事をしている土地の面積	平方メートル
4 土石の堆積の最大堆積高さ	メートル
5 土石の堆積を行う土地の面積	平方メートル
6 土石の堆積の最大堆積土量	立方メートル
7 工事着手年月日	年 月 日
8 工事完了予定年月日	年 月 日
9 工事の進捗状況	

現地で実際に工事を施行している者の住所氏名を記入すること。法人であるときは、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入

工事をしている土地の全ての地番を記入すること。緯度経度は、工事をしている土地のおおむね中心を代表地点として記入すること

工事期間中に計画している最大時の土石の堆積の高さ、面積、土量を記入すること

土石の堆積に関する工事に着手した年月日、その工事が完了する予定の年月日を記入すること。事業として継続的な土石の堆積を行う場合は、「8 工事完了予定年月日」の欄は“未定”とし、「9 工事の進捗状況」の欄に“事業状況”を記入すること

添付図書

図面の種類	明示すべき事項
① 位置図	縮尺、方位、道路及び目標となる地物（工事区域を赤枠で表示） 工事をしている土地において、土石の堆積箇所が複数ある場合は、すべての箇所を表示
② 土地の現況写真	全景及び土石の堆積箇所の状況（堆積箇所ごと）
◎上記に加え、特盛区域の許可対象規模に該当する工事の場合	
③ 地形図	縮尺、方位及び土地の境界線 （土石の堆積箇所を赤枠で表示及び現況地盤高を表示）
④ 土地の平面図	縮尺、方位及び土地の境界線並びに勾配が十分の一を超える土地における堆積した土石の崩壊を防止するための措置及び当該措置の内容、空地の位置、柵その他これに類するものを設置する位置、雨水その他の地表水を有効に排除する措置を講ずる位置及び当該措置の内容並びに堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置を講ずる位置及び当該措置の内容 （土石の堆積箇所における、計画最大高さ及び面積を表示）